

赤穂市告示第31号

地方公営企業に係る令和7年度下半期業務状況説明書について

赤穂市病院事業の設置等に関する条例（平成18年赤穂市条例第30号）第11条及び赤穂市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例（平成30年赤穂市条例第28号）第10条の規定により、令和7年度下半期業務状況説明書を次のとおり公表する。

令和8年6月4日

赤穂市長 牟 禮 正 稔

令和7年度下半期

赤穂市病院事業業務状況説明書

赤 穂 市 民 病 院

## I 病院事業

### 1 利用患者数の状況

令和7年10月1日から令和8年3月31日までの利用患者状況は別表のとおりで、1日平均患者数は、入院178.0人、外来533.0人、診療所外来21.3人となっています。

これを前年同期と比較すると、入院27.0人、外来31.6人、診療所外来1.5人がそれぞれ減少となっています。

### 2 損益収支の状況

#### (1) 収益

下半期の総収益は3,787,478,271円で、前年度と比較して570,973,989円減少となっています。

##### ア 病院医業収益

病院医業収益は、前年度より384,950,750円(11.1%)減の3,073,341,158円となっています。

この内訳は、入院収益	370,665,123円	(17.3%) 減少
外来収益	35,304,316円	(3.3%) 減少

であり、入院収益及び外来収益においては患者数の減少が主な要因となっています。

##### イ 医業外収益

医業外収益は、前年度より187,604,241円(22.2%)減の655,701,152円で、一般会計からの繰入金金の減少が主な要因となっています。

#### (2) 費用

総費用は5,049,307,877円で、前年度と比較して99,069,754円(1.9%)減少となっています。

この内訳は、病院医業費用	57,763,786円	(1.2%) 減少
医業外費用	28,214,528円	(7.8%) 減少

であり、病院医業費用においては、材料費の減少が主な要因で、医業外費用においては、雑支出の減少が主な要因となっています。

この結果、下半期の損益収支の状況は、1,261,829,606円の純損失(前年度純損失789,925,371円)となっています。

利用患者統計

令和7年10月~令和8年3月

1. 病院

区分	入院				院外				延患者数(人)			
	延患者数(人)		一日平均患者数(人)		延患者数(人)		一日平均患者数(人)		延患者数(人)		一日平均患者数(人)	
	R7	比較	R6	比較	R7	比較	R6	比較	R7	比較	R6	比較
内科	8,843	△ 1,744	10,587	△ 9.6	48.6	58.2	14,436	△ 330	119.5	121.3	△ 1.8	
呼吸器科	0	0	0	0.0	0.0	0.0	1,656	△ 166	12.6	13.9	△ 1.3	
消化器内科	6,414	△ 1,847	8,261	△ 10.2	35.2	45.4	9,546	232	82.9	80.2	2.7	
循環器科	4,323	△ 755	5,078	△ 4.1	23.8	27.9	6,236	△ 822	45.9	52.4	△ 6.5	
外科	2,517	148	2,369	0.8	13.8	13.0	3,013	△ 350	22.6	25.3	△ 2.7	
小児科	100	△ 18	118	△ 0.1	0.5	0.6	1,744	△ 266	12.5	14.7	△ 2.2	
眼科	30	△ 30	60	△ 0.1	0.2	0.3	2,446	△ 47	20.3	20.6	△ 0.3	
耳鼻咽喉科	546	191	355	1.0	3.0	2.0	2,689	6	22.8	22.6	0.2	
産婦人科	0	0	0	0.0	0.0	0.0	2,011	△ 47	16.6	16.9	△ 0.3	
皮膚科	163	△ 31	194	△ 0.2	0.9	1.1	3,096	△ 258	24.1	26.0	△ 1.9	
整形外科	6,290	△ 1,493	7,783	△ 8.2	34.6	42.8	5,619	△ 459	43.7	47.2	△ 3.5	
泌尿器科	1,092	270	822	1.5	6.0	4.5	4,087	△ 446	30.9	34.4	△ 3.5	
脳神経外科	1,496	304	1,192	1.7	8.2	6.5	1,838	△ 112	14.6	15.4	△ 0.8	
放射線科	0	0	0	0.0	0.0	0.0	792	165	8.1	6.7	1.4	
麻酔科	0	△ 4	4	0.0	0.0	0.0	738	△ 35	6.0	6.2	△ 0.2	
形成外科	0	0	0	0.0	0.0	0.0	481	△ 55	3.6	4.0	△ 0.4	
乳腺外科	252	132	120	0.7	1.4	0.7	812	△ 43	6.5	6.8	△ 0.3	
心療内科	0	0	0	0.0	0.0	0.0	1,235	△ 14	10.4	10.4	0.0	
精神科	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0.0	
歯科口腔外科	320	△ 25	345	△ 0.1	1.8	1.9	2,299	△ 488	15.4	19.3	△ 3.9	
心臓血管外科	0	△ 17	17	△ 0.1	0.0	0.1	392	△ 391	0.0	3.3	△ 3.3	
救急科	2	△ 3	5	0.0	0.0	0.0	2,017	△ 368	14.0	17.0	△ 3.0	
計	32,388	△ 4,922	37,310	△ 27.0	178.0	205.0	67,183	△ 4,294	533.0	564.6	△ 31.6	

2. 診療所

区分	入院				院外				延患者数(人)			
	延患者数(人)		一日平均患者数(人)		延患者数(人)		一日平均患者数(人)		延患者数(人)		一日平均患者数(人)	
	R7	比較	R6	比較	R7	比較	R6	比較	R7	比較	R6	比較
西	127	△ 41	168	4.9	4.7	0.2	182	118	182	119		
高	217	△ 39	256	5.7	6.2	△ 0.5	26	36				
福	374	△ 44	418	10.7	11.9	△ 1.2	38	41				
有	718	△ 124	842	21.3	22.8	△ 1.5	35	35				
計												

診療日数

## 赤穂市病院事業貸借対照表

(令和8年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	10,281,236,657	固定負債	6,096,657,665
有形固定資産	10,072,043,737	企業債	4,310,974,191
無形固定資産	2,159,600	他会計借入金	400,000,000
投資その他の資産	207,033,320	リース債務	7,613,880
流動資産	1,503,075,948	引当金	1,378,069,594
現金預金	557,848,326	流動負債	2,888,082,375
未収金	913,720,279	企業債	1,057,897,746
貯蔵品	29,436,779	一時借入金	850,000,000
その他流動資産	2,070,564	リース債務	7,613,880
		未払金	637,006,054
		引当金	293,378,482
		その他流動負債	42,186,213
		繰延収益	208,790,154
		長期前受金	208,790,154
		資本金	10,881,759,272
		資本金	10,881,759,272
		剰余金	△ 8,290,976,861
		資本剰余金	27,618,500
		利益剰余金	△ 8,318,595,361
合 計	11,784,312,605	合 計	11,784,312,605

## 赤穂市病院事業損益計算書

(令和7年10月1日から令和8年3月31日まで)

(単位 円)

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院医業費用	4,612,593,702	病院医業収益	3,073,341,158
給与費	2,415,537,771	入院収益	1,768,090,853
材料費	757,760,799	外来収益	1,034,473,899
減価償却費	270,223,940	その他医業収益	270,776,406
その他の経費	1,169,071,192	診療所医業収益	5,485,959
診療所医業費用	17,055,320	訪問看護ステーション収益	44,639,649
給与費	10,908,214	医業外収益	655,701,152
材料費	529,754	院内託児所収益	7,270,040
減価償却費	505,663	特別利益	1,040,313
その他の経費	5,111,689	当期純損失	1,261,829,606
訪問看護ステーション費	56,460,840		
医業外費用	333,351,658		
支払利息	26,911,876		
その他医業外費用	306,439,782		
院内託児所費	28,845,127		
特別損失	1,001,230		
合 計	5,049,307,877	合 計	5,049,307,877

## II 介護老人保健施設事業

### 1 利用者数の状況

令和7年10月1日から令和8年3月31日までの入所者・通所者の利用状況は別表のとおりで、一日平均利用者数は、入所47.3人、通所24.1人となっています。

これを前年度同期と比較すると、入所で0.4人、通所で1.0人それぞれ減少しています。

### 2 損益収支の状況

#### (1) 収益

下半期の総収益は、217,809,459円で、前年度と比較して69,236,667円増加しています。

この内訳は、事業収益	482,897円	(0.3%)	減少
事業外収益	69,704,720円	(2,453.9%)	増加
特別利益	14,844円	(皆増)	増加

であり、入所収益等の減により事業収益が減少したものの、一般会計補助金の増により事業外収益が増加したことが主な要因となっています。

#### (2) 費用

下半期の総費用は、239,679,424円で、前年度と比較して19,892,939円増加しています。

この内訳は、事業費用	19,876,411円	(9.4%)	増加
事業外費用	16,528円	(0.2%)	増加

であり、事業費用において、給与費等の増による増加が主な要因となっています。

この結果、下半期の損益収支の状況は、21,869,965円の純損失（前年同期純損失71,213,693円）となっています。

利用者統計

令和7年10月～令和8年3月  
(単位：人)

介護老人保健施設

区分	入所					通所						
	入所者数		一日平均入所者数		区分	通所者数		一日平均通所者数		比較		
	R7	R6	比較	R7		R6	比較	R7	R6			
長期	7,953	8,111	△ 158	43.7	44.6	△ 0.9	2,482	2,378	104	21.0	21.6	△ 0.6
短期	660	574	86	3.6	3.1	0.5	265	229	36	2.2	2.1	0.1
予防短期	6	0	6	0.0	0.0	0.0	110	149	△ 39	0.9	1.4	△ 0.5
計	8,619	8,685	△ 66	47.3	47.7	△ 0.4	2,857	2,756	101	24.1	25.1	△ 1.0

療養・リハビリ日数

区分	R7	R6	比較
長期	182	182	0
短期	182	182	0
通所リハビリ	118	118	0
介護予防通所リハビリ	118	118	0
通所C	118	118	0

## 赤穂市介護老人保健施設事業貸借対照表

(令和8年3月31日)

(単位＝円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	711,212,040	固定負債	219,546,422
有形固定資産	711,212,040	企業債	197,953,986
流動資産	71,046,429	リース債務	261,360
現金預金	28,487,985	引当金	21,331,076
未収金	42,558,444	流動負債	97,842,886
		企業債	52,277,183
		一時借入金	0
		リース債務	2,322,210
		未払金	23,466,322
		引当金	19,180,166
		預り金	597,005
		繰延収益	13,509,239
		長期前受金	41,179,530
		収益化累計額	△ 27,670,291
		資本金	918,028,347
		資本金	918,028,347
		剰余金	△ 466,668,425
		利益剰余金	△ 466,668,425
合 計	782,258,469	合 計	782,258,469

## 赤穂市介護老人保健施設事業損益計算書

(令和7年10月1日から令和8年3月31日まで)

(単位＝円)

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業費用	230,476,008	事業収益	145,264,123
給与費	150,411,777	入所収益	94,777,368
材料費	14,361,317	通所収益	28,014,762
減価償却費	18,003,292	その他事業収益	22,471,993
その他の経費	47,699,622	事業外収益	72,545,336
事業外費用	9,203,416	特別利益	0
特別損失	0	当期純損失	21,869,965
合 計	239,679,424	合 計	239,679,424

令和7年度下半期

赤穂市水道事業業務状況説明書

赤 穂 市

令和7年度下半期赤穂市水道事業業務報告状況説明書  
(令和7年10月1日から令和8年3月31日まで)

1 給水の状況

令和7年10月1日から令和8年3月31日までの給水の状況は別表のとおりで、給水件数23,105件、配水量5,889,766<sup>m</sup>、有収水量5,663,236<sup>m</sup>となっています。これを前年同期と比較すると、給水件数で39件増加、配水量で272,423<sup>m</sup>の減少、有収水量で181,971<sup>m</sup>の減少となっています。

2 建設改良費の状況

(1) 原水施設改良事業

前年度から債務負担行為事業として実施していた原水源地紫外線処理設備工事が完了しました。また、次年度以降の事業実施に向けた設計業務を行いました。

(2) 配水施設改良事業

有年地区及び野中・砂子地区において配水管布設工事を行ったほか、経年劣化した水道管を更新するために大津配水管改良工事等を行いました。

3 損益収支の状況

(1) 収益

下半期の総収益は487,955,367円で、前年度と比較して10,246,529円(2.1%)増加しています。これは、特別利益のうち退職給付引当金戻入が発生したことが主な要因です。

(2) 費用

下半期の総費用は533,935,695円で、前年度と比較して8,033,454円(1.5%)減少しています。これは、営業費用において人件費及び工事請負費が減少したことが主な要因です。

この結果、下半期の損益収支の状況は、45,980,328円の純損失(前年同期純損失64,260,311円)となっています。

## 業 務 量

区 分	本年度 下半期	前年度 下半期	比 較	
			増 減	比率%
給水人口 (人)	43,116	43,874	△ 758	△ 1.7
給水件数 (件)	23,105	23,066	39	0.2
総配水量 (m <sup>3</sup> )	5,889,766	6,162,189	△ 272,423	△ 4.4
内 訳	有収水量(m <sup>3</sup> )	5,663,236	△ 181,971	△ 3.1
	無収水量(m <sup>3</sup> )	12,897	△ 2,848	△ 18.1
	無効水量(m <sup>3</sup> )	213,633	△ 87,604	△ 29.1
有収率 (%)	96.2	94.9	1.3	1.3
一日最大配水量(m <sup>3</sup> )	7/10 36,656	1/22 39,844	△ 3,188	△ 8.0
一日平均配水量(m <sup>3</sup> )	32,361	33,858	△ 1,497	△ 4.4

## 損益収支状況

区 分	本年度下半期		前年度下半期		比 較		
	金 額 (円)	構成比	金 額 (円)	構成比	増減額 (円)	比率%	
収 益	営業収益	410,659,403	84.2	407,745,922	87.6	2,913,481	0.7
	営業外収益	65,253,964	13.3	69,962,916	12.4	△ 4,708,952	△ 6.7
	特別利益	12,042,000	2.5	0	0.0	12,042,000	—
	計	487,955,367	100.0	477,708,838	100.0	10,246,529	2.1
費 用	営業費用	512,351,683	96.0	522,961,072	95.4	△ 10,609,389	△ 2.0
	営業外費用	21,581,768	4.0	19,008,077	4.6	2,573,691	13.5
	特別損失	2,244	0.0	0	0.0	2,244	—
	計	533,935,695	100.0	541,969,149	100.0	△ 8,033,454	△ 1.5
損 益	営業損益	△ 101,692,280		△ 115,215,150		13,522,870	
	営業外損益	43,672,196		50,954,839		△ 7,282,643	
	特別損益	12,039,756		0		12,039,756	
	計	△ 45,980,328		△ 64,260,311		18,279,983	
営業収益/営業費用	80.2%		78.0%				
収 益/費 用	91.4%		88.1%				

赤穂市水道事業貸借対照表

(令和8年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	10,746,044,865	固定負債	3,590,303,359
有形固定資産	10,352,491,115	企業債	3,187,072,128
無形固定資産	15,887,942	開発負担金	329,013,152
投資その他の資産	377,665,808	引当金	74,218,079
流動資産	2,099,445,230	流動負債	850,929,044
現金預金	1,979,016,544	企業債	169,446,925
未収金	68,162,724	未払金	617,024,414
貯蔵品	9,617,838	前受金	13,484
その他流動資産	42,648,124	引当金	15,843,519
		預り金	5,952,578
		その他流動負債	42,648,124
		繰延収益	2,087,907,476
		長期前受金	2,087,907,476
		資本金	6,072,883,047
		資本金	6,072,883,047
		剰余金	243,467,169
		資本剰余金	17,688,401
		利益剰余金	225,778,768
合 計	12,845,490,095	合 計	12,845,490,095

赤穂市水道事業損益計算書

(令和7年10月1日から令和8年3月31日まで)

(単位 円)

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	512,351,683	営業収益	410,659,403
原水及び浄水費	120,914,720	給水収益	327,900,490
配水及び給水費	102,025,832	受託等業務収益	29,934,185
受託等業務費	13,710,727	その他営業収益	52,824,728
総係費	51,023,259	営業外収益	65,253,964
減価償却費	216,096,628	受取利息配当金	4,247,085
資産減耗費	8,580,517	加入者負担金	1,958,000
営業外費用	21,581,768	長期前受金戻入	55,811,398
支払利息	10,957,128	雑収益	3,237,481
雑支出	10,624,640	特別利益	12,042,000
特別損失	2,244		
下半期純利益	△ 45,980,328		
合 計	487,955,367	合 計	487,955,367

令和7年度下半期

赤穂市下水道事業業務状況説明書

赤 穂 市

令和7年度下半期赤穂市下水道事業業務状況説明書  
(令和7年10月1日から令和8年3月31日まで)

1 汚水処理の状況

令和7年10月1日から令和8年3月31日までの汚水処理の状況は別表のとおりで、処理件数65,820件、汚水処理量2,663,361<sup>m</sup>、有収水量2,598,644<sup>m</sup>となっています。

これを前年同期と比較すると、処理件数で333件の増加、汚水処理量で202,103<sup>m</sup>の減少、有収水量で76,918<sup>m</sup>減少となっています。

2 建設改良の状況

(1) 管渠建設改良費

有年地区及び野中・砂子地区の土地区画整理事業の進捗に合わせ、汚水管渠築造工事を実施しました。また、委託業務として、内水浸水想定区域図作成業務委託を実施しました。

(2) ポンプ場建設改良費

浜田中継ポンプ場耐震診断業務委託を実施しました。また、汚水中継ポンプ場遠方監視設備詳細設計業務委託を次年度に繰越して実施します。

(3) 処理場建設改良費

下水管理センターにおいて照明設備更新工事及び高架水槽整備工事を実施しました。また、委託業務として、原新田地区農業集落排水処理施設機能診断業務委託を実施し、官民連携事業導入可能性調査(その2)業務委託を次年度に繰越して実施します。

3 損益収支の状況

(1) 収益

下半期の総収益は834,125,509円で、前年度と比較して64,977,315円(7.2%)減少しています。これは、繰入金の配分見直しに伴う他会計補助金が減少したことによる営業外収益の減が主な要因です。

(2) 費用

下半期の総費用は1,082,608,879円で、前年度と比較して17,116,097円(1.6%)減少しています。これは、委託料及び工事請負費の減少による営業費用の減が主な要因です。

この結果、下半期の損益収支の状況は、248,483,370円の純損失(前年同期純損失200,622,152円)となっています。

## 業 務 量

区 分	本年度 下半期	前年度 下半期	比 較	
			増 減	比率%
処理人口 (人)	43,116	43,874	△ 758	△ 1.7
件数 (件)	65,820	65,487	333	0.5
総汚水量 (m <sup>3</sup> )	2,663,361	2,865,464	△ 202,103	△ 7.1
内 訳	有収水量(m <sup>3</sup> )	2,598,644	△ 76,918	△ 2.9
	無収水量(m <sup>3</sup> )	3,338	△ 557	△ 14.3
	不明水量(m <sup>3</sup> )	61,379	186,007	△ 124,628
有収水量率 (%)	97.6	93.4	4.2	4.5
晴天時最大処理量(m <sup>3</sup> )	6/6,17 21,326	6/2,7/5 22,526	△ 1,200	7.0
一日平均処理量(m <sup>3</sup> )	16,177	17,810	△ 1,633	△ 9.2

## 損益収支状況

区 分	本年度下半期		前年度下半期		比 較		
	金 額 (円)	構成比	金 額 (円)	構成比	増減額 (円)	比率%	
収 益	営業収益	491,831,660	51.6	459,516,551	51.1	32,315,109	7.0
	営業外収益	342,293,849	48.4	439,586,273	48.9	△ 97,292,424	△ 22.1
	特別利益	0	0.0	0	0.0	0	—
	計	834,125,509	100.0	899,102,824	100.0	△ 64,977,315	△ 7.2
費 用	営業費用	1,023,757,194	94.8	1,046,304,708	95.1	△ 22,547,514	△ 2.2
	営業外費用	58,844,177	5.0	51,144,468	4.7	7,699,709	15.1
	特別損失	7,508	0.2	2,275,800	0.2	△ 2,268,292	△ 99.7
	計	1,082,608,879	100.0	1,099,724,976	100.0	△ 17,116,097	△ 1.6
損 益	営業損益	△ 531,925,534		△ 586,788,157		54,862,623	
	営業外損益	283,449,672		388,441,805		△ 104,992,133	
	特別損益	△ 7,508		△ 2,275,800		2,268,292	
	計	△ 248,483,370		△ 200,622,152		△ 47,861,218	
営業収益/営業費用	48.0%		43.9%				
収 益/費 用	77.0%		81.8%				

## 赤穂市下水道事業貸借対照表

(令和8年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	27,001,345,665	固定負債	8,374,710,166
有形固定資産	26,999,336,019	企業債	8,194,710,166
無形固定資産	2,009,646	他会計借入金	180,000,000
流動資産	414,083,765	流動負債	2,483,167,649
現金預金	319,235,972	企業債	2,217,205,984
未収金	94,757,685	他会計借入金	20,000,000
前払金	90,108	未払金	237,570,154
その他流動資産	0	引当金	8,388,939
		預り金	2,572
		その他流動負債	0
		繰延収益	11,895,933,210
		長期前受金	11,895,933,210
		資本金	5,121,398,254
		資本金	5,121,398,254
		剰余金	△ 459,779,849
		資本剰余金	840,487,683
		利益剰余金	△ 1,300,267,532
合 計	27,415,429,430	合 計	27,415,429,430

## 赤穂市下水道事業損益計算書

(令和7年10月1日から令和8年3月31日まで)

(単位 円)

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業費用	1,023,757,194	営業収益	491,831,660
管渠費	16,877,347	下水道使用料収益	296,227,996
ポンプ場費	53,170,875	受託等業務収益	37,918,000
処理場費	191,663,307	他会計負担金	3,359,000
受託等業務費	21,309,162	その他営業収益	154,326,664
総係費	39,909,814		
減価償却費	700,152,147		
資産減耗費	674,542		
営業外費用	58,844,177	営業外収益	342,293,849
支払利息	44,879,985	他会計補助金	8,563,087
雑支出	13,964,192	長期前受金戻入	333,673,164
		雑収益	57,567
		受取利息及び配当金	31
特別損失	7,508	特別利益	0
下半期純利益	△ 248,483,370		
合 計	834,125,509	合 計	834,125,509